

○ やましやくやく〔*Paeonia japonica* (MAK.) MIYABE et TAKEDA.〕と べにはな
やましやくやく (*P. obovata* MAX.) 正宗巖敬 (G. MASAMUNE : On the Difference
Between *Paeonia japonica* MIYABE et TAKEDA and *P. obovata* MAX.)

これら二種は、時とすると、同一種で、ヤマシヤクヤクが、ベニバナヤマシヤクヤクの
変種とみられている。しかしその果実の裂開の様子は、あきらかに二種を区別する特徴を



そなえている。石川県では、ベニバナヤマシヤクヤクが平地近くに、ヤマシヤクヤクがや
や高い山に多い。私はこの事実を忘れていた
ところ、過日、金沢市横安江町の植物愛好家
の、近弥二郎氏の宅でベニバナヤマシヤクヤ
クの鉢植を見せていただいた時に、この事実
を確認した。ここに掲げたのは、その時に写

した写真で、果実の裂開の様子がよくあらわれている。ヤマシヤクヤクは牧野植物図鑑にも、
えがかれているように、果葉は外方に強くひつくり返つているが、ベニバナヤマシヤクヤク
ではこのようなことは見られない。この事実は周知のことからであるが、しばしば
両種の区別をきかれるので、ここに記した。